

令和6年度第4回大和市社会教育委員会議定例会（第33期） 会議録

| | | | |
|-----------------------|--|---|--|
| 会議名（審議会等の名称） | 令和6年度第4回大和市社会教育委員会議定例会（第33期） | | |
| 開催日時 | 令和7年2月27日（木曜日）午後4時00分～午後4時30分 | | |
| 開催場所 | 文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室 | | |
| 出席状況 | 委員 | 8人：伊藤（能）委員、大川委員、小早川委員、齋藤委員、中村委員、長谷部委員、藤倉委員、丸田委員 | |
| | 関係各課 | 1人：図書・学び交流課長 | |
| | 事務局 | 2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（046-259-6104） | |
| | 傍聴人数 | 0人 | |
| 公開・非公開の状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 | | |
| 非公開・一部非公開の場合 はその理由 | | | |
| 審議又は検討経過 及び結果 | <p>1 会議次第</p> <p>（1）あいさつ</p> <p>（2）報告事項</p> <p> 1）大和市生涯学習推進計画について</p> <p> 2）令和6年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>（3）その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><報告事項></p> <p>1）「1）大和市生涯学習推進計画について」</p> <p>（市） 前回、2月3日の第2回臨時会において、教育委員会からの諮問に対して委員からのご意見、ご質問は出ず、答申については議長一任となったため、資料1のとおり社会教育委員会議からの答申を作成し、2月14日の教育委員会定例会で提出し、計画の策定について承認をいただいた。</p> <p>資料2の計画案のとおり策定したいと考えているが、一部軽微な変更箇所があるので説明させていただく。令和7年4月1日より、市の組織改正に伴い組織名が変更になる部署がある。生涯学習推進計画に関係がある部署としては、スポーツ課が【スポーツ×ライフ課】になり、こども・青少年課が【こども青少年みらい課】になる。具体的な変更箇所についてご説明する。まず、【スポーツ×ライフ課】に変更した箇所は、23ページの表「スポーツ教室の延べ参加者数」の主管、そのすぐ下の表「年1回以上直接会場でスポーツを観戦している人の割合」の主管、33ページの表「学校施設のスポーツ開放利用件数」の主管、39ページの表⑭「スポーツ教室の開催延べ教室数」の担当、そのすぐ下の表⑮「スポーツ観戦機会の提供数」の担当、46ページの表⑯「学校施設のスポーツ開放利用団体数」の担当の、計6箇所である。次に、【こども青少年みらい課】に変更した箇所は、21ページ</p> | | |

の表「ユースクラブの活動日数」の主管、そのすぐ下の表「こども体験事業の参加者数」の主管、33ページの表「青少年指導員の活動延べ日数」の主管、36ページの表⑦「ユースクラブが知識や技術を習得するための会議や研修の実施日数」の担当、37ページの表⑧「こども体験事業の活動報告の展示日数」の担当、47ページの表⑨「青少年指導員の依頼人数」の担当の、計6箇所である。最後に、57ページと58ページに、諮問書と答申書の写しを掲載している。主な変更点は以上である。

今後の流れとしては、計画（案）の決裁が取れ次第、3月中に印刷製本し、市ホームページへの掲載、市内公共施設への配架を行いたいと考えている。報告は以上である。

(議長) ご意見、ご質問はあるか。

(委員) 来年度から組織名がスポーツ×ライフ課、こども青少年みらい課に変更になるという説明があったが、図書・学び交流課には影響はないのか。

(市) 図書・学び交流課に関しては、課名及び業務内容に変更は無い。ただし、部名が文化スポーツ部から【健幸・スポーツ部】に変更となる。

(市) また、現在文化スポーツ部のイベント観光課と国際・男女共同参画課が他の部に移り、代わりに健康福祉部の健康づくり推進課と医療健診課が健幸・スポーツ部に入ることとなる。

(議長) 他にご意見、ご質問が無ければ、本計画の策定についての社会教育委員会議での審議は以上とする。

(一同) 異議なし。

1) 「2) 令和6年度社会教育委員に関する研修会等について」

(議長) 資料5の7番目、「神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会(大磯町会場)」の報告を、出席した委員よりお願いしたい。

(委員) 今回の地区研究会は大磯町会場ということで、2月4日に大磯プリンスホテルで開催された。冒頭、大磯町社会教育委員会議の議長や県社教連会長の挨拶などがあり、その後、アトラクションで大磯町の歴史や文化の紹介があった。その中で、大磯ガイド協会というNPO法人の方々方が寸劇をされた。伊藤博文と吉田茂に扮した方が登場し、会話をしながら大磯町の紹介をされていて、とても興味を引かれた。大磯町に住んだ総理大臣が8人いるということで、人物の紹介をしながら面白おかしく寸劇をして下さった。早く会場に着いたので、松並木や吉田茂邸宅跡などを見たのだが、そのすぐ後の寸劇だったので、本当にその当時にいるような感覚で楽しみながら拝見した。その後、大磯町社会教育委員の加藤理絵さんによる人権講話があった。加藤さんはヤマザキ動物看護大学の准教授で、教育学博士でもあり、公認心理士の資格をお持ちとのこと。「自然豊かな大磯町と子ども達のウェルビーイング」という演題でお話があった。20分ぐらいの講話だったが、加藤さんが大磯町の中学生にアンケート調査をした結果を示しながら、大磯町は自然が豊かで、人と社会が好ましい状態になる

ためには自然との触れ合いがとても有効であるという話をされていた。ただ、それが実際大磯町で行っている社会教育、生涯学習の活動の中でどのように活かされているという話は無く、中学生が大磯町をどう捉えているかという調査結果を示されていたところまでだったので、この先どう自然を活かして活動していくかという話も聞きたかった。その後、大磯町の生涯学習推進計画に基づいて実施している施策の紹介があった。3つあったのだが、1つ目は子育て、家庭教育支援の報告、2つ目は青少年教育の報告、3つ目は情報の一元化の報告であった。1つ目の子育て、家庭教育支援については、いろいろな社会教育施設の紹介をされた後に、子ども会の活動について詳しく報告されていた。少子化や、共働き家庭が増えたり、習い事をしている子どもが増えたりする中で、子ども会の活動も思うようにできなくなってきているため、時代に合わせた子ども会の活動にしようということで仕組みを工夫しているという話をされていた。会費制を廃止し、町内会費で賄うという形をとっているとのこと。また役員当番制を廃止し、自治会に入っている人は誰でも子ども会に入れるといった工夫もされたとのこと。2つ目の青少年教育については、大磯町の青少年指導員10名が企画している事業の紹介であった。ナイトハイク&ミュージアム、デイキャンプ、外部団体の協力を得ての小学校2年から6年までの職業体験、高校生のダンスサークルと小学生の交流などを行っているとのことであった。3つ目の情報の一元化については、学びたい人と学んだ成果を活かしたい人とのマッチングのようなことをしているとのこと、サッカーの指導をされている方や国府小学校の校長先生が地域の伝統行事に関わるとか、子どもサミットで留学生が子どもたちに向けて英語の授業をするような交流の場を設けたということで、学んだ成果の還元をするような場の紹介であった。

(議 長) 本日の報告事項は以上である。次回会議の日程について、事務局より説明をお願いしたい。

(市) 次回は令和7年度第1回定例会を4月に開催予定である。4月21日(月)から25日(金)までの5日間で、出席可能委員の多い日にしたいと考えている。開始時刻は、いずれも午後3時30分からを予定している。

～各委員に確認～

4月21日(月) 欠席0名

4月22日(火) 欠席2名

4月23日(水) 欠席0名

4月24日(木) 欠席1名

4月25日(金) 欠席1名

本日欠席の3名に後日確認し、日程が決まり次第ご連絡する。事務局からは以上である。

→ 欠席者に確認し、全員出席可能な4月21日(月)に決定。

(議 長) これにて議事を終了とする。

| | |
|------|--|
| | <閉会> |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none">・令和6年度第4回社会教育委員会議定例会（第33期）次第・第33期大和市社会教育委員名簿・【資料1】大和市生涯学習推進計画について（答申）・【資料2】大和市生涯学習推進計画（案）・【資料3】令和6年度社会教育委員に関する研修会等 |